

パソコン制御によるパソコンやテレビ等のHDMI映像切替器の試作開発

概要

パソコン上のアプリケーションの操作により、テレビ放送とデジタルサイネージの映像信号を切替可能とする装置の試作開発

背景・目的

HDMI映像切替機にパソコン制御機能を加えることで、テレビ放送とデジタルサイネージを自動で切り替えるサービスを実現し、デジタルサイネージに新しい価値を創造できるものである。

これまでの基本的なデジタルサイネージは、サイネージ用のパソコンに格納されているコンテンツのスケジュールを組み、モニターに表示していたため、表示するすべてのコンテンツを制作する必要があった。

そこで、本事業では、通常時テレビ放送等の映像を流し、設定した時間や場所で独自のコンテンツを流すサービスが可能となる映像切替器及び制御ソフトウェアを試作開発した。

○デジタルサイネージとは

デジタル技術を用いて映像機器に、広告情報を表示する電子看板。表示内容の切替や動画再生等の様々な映像広告を行える。

実施内容

○開発コンセプト

- ◆インターフェースは標準化されているhttpプロトコルを使用
- ◆パソコン・タブレット等に対応可能な独立した製品
- ◆実用ベースでの安定稼働及び早期製品化

○基本設計及びレビュー

- ◆組み込みソフトウェア用ツール群等の調査・カスタマイズ
- ◆開発環境構築検証

○組み込みソフトウェアの開発及び検証

- ◆チップ制御部分プログラム
- ◆外部モジュール呼び出しAPIプログラム



デジタルサイネージ用
パソコン

表示モニター



従来システム

株式会社ワールドコミュニケーションズ

代表取締役 平山 法人
青森県青森市勝田1-19-4
TEL: 017-732-5088

企業概要: インターネット関連事業、受託システム開発事業、ソリューション事業、エンドユーザ向システム提案・開発・販売・運用サポート、不動産検索サイト運営事業、サイト制作事業と多岐にわたるWeb系システム開発を展開。

○組み込みソフトウェアの外部インターフェース部分の開発及び検証

○テレビとパソコンデジタルサイネージシステムでの結合試験及び検証

○テレビ及びデジタルサイネージ映像の切り替え状況の検証及び調整・連続稼働テスト

本事業での成果

○外部モジュールでの制御を実現

外部モジュール（パソコン、Linuxサーバ、アンドロイド端末、iPad等）からの制御を可能とするアプリケーションを開発し、連動検証を行った結果、十分な映像切り替え性能を実証した。デジタルサイネージ映像の切り換えについては、制御方法と外部機器での表示方法の確立により、高品質を実現した。

○連続稼働に対応

低消費電力で24時間運用に対応可能。

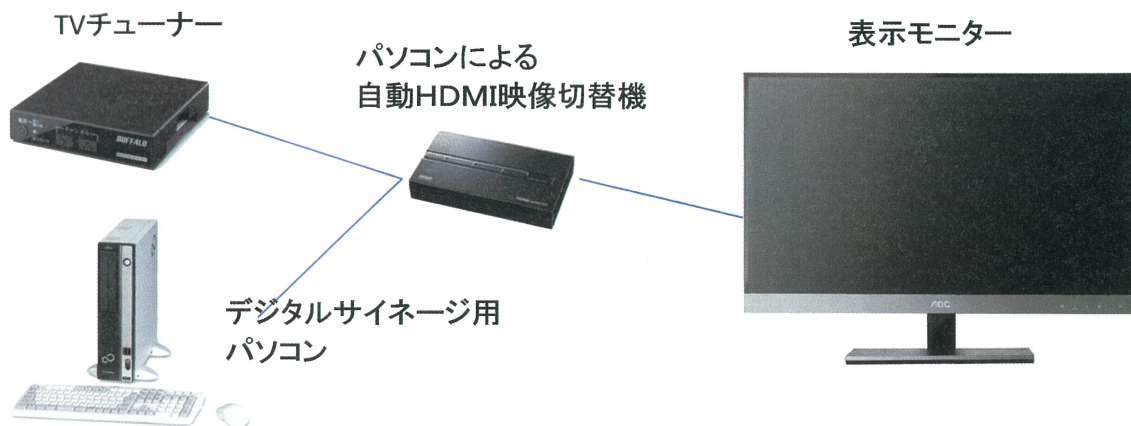
○他社との優位性

弊社のデジタルサイネージ事業のコンテンツ制作部に補助機能が加わり、性能・機能面で優位となった。また、弊社のデジタルサイネージは受託開発型であるため、顧客ごとに開発していたが、本事業の成果を活用することで小規模ユーザーに対しても、短納期、かつ低コスト化が図れる。

今後の展望

デジタルサイネージ市場は2020年には1,600億円規模となることが予想されている（株式会社 富士キメラ総研 デジタルサイネージ市場総調査2013より）。

弊社においては、上記市場の「インスタメディア他」ジャンルでの更なる受注拡大を見込んでおり、また、弊社のデジタルサイネージへの組み込み販売のみならず、ネット通販による映像切替器の単体販売も視野に入れた事業化を目指す。



本事業での試作システム